

## レポート 洗馬小学校1年生の実践

～一人ひとりがICTの善き使い手をめざす学びのあり方について～

### (1) タブレットとの出会い

入学間もない4、5月は、学校生活のリズムに慣れること、ひらがなや言葉になれていくことを優先させた。「タブレットやりたい」という声がよく上がってきたが、ルール、約束事を十分指導しない中でタブレットを手渡すことは避けたいと思ったため、5月後半にタブレットを使わせる際には、GIGAスクールサポーターさんに授業で話をしていただき、約束事を確認してタブレットと出合わせた。

### (2) 使用するアプリを徐々に広げていく

はじめは、カメラアプリとロイロノートの2つに限定して使用してきた。使う目的が学習の記録なので、他のアプリをつかう必要もなく、1学期中はこの2つで十分であった。

2学期に入ると、子どもたちが様々な子音に興味関心を寄せてきたこと、カタカナや漢字の学習が始まったこと、算数もいろいろな問題を解けるようになってきたこともあり、eライブラリやWEBアプリ、ピクチャーキッズなどのアプリをつかう場面を作ってきた。学び方を選べる段階に来たので、このようなことをやっても対応ができるようになった。

### (3) 学級PTAや学年だよりなどで保護者に呼びかける

【9月学級PTA プレゼンでの資料】

#### タブレットを使った学習 そもそも目的は？

- ・学習したことがデジタルで残ることで、見返しがしやすい。
- ・結果が残ることで、「次はがんばろう」「もっとできるようになりたい」などのモチベーション向上につながる可能性がある。
- ・世の中がデジタル端末当たり前であるので、家庭でもより適切な使い方を一緒に考えてほしい。(家にあるゲーム機、スマホ、タブレットとは違うことを意識してもらいたい。)

【学年だよりでのお知らせ文】

#### ・来週末 タブレット (iPad) を持ち帰ります。

10月3日(金)にタブレット端末(iPad)を持ち帰ります。音読を録画して、ロイロノートの提出箱に送ってもらうこと、eライブラリを使って算数の自主学習をする、これまで使ったロイロノートをおうちで見るなど、お子さんの学習の様子を一緒に見ていただけたらと考えておりますので、よろしくをお願いします。

### ・タブレットを持ち帰ります。

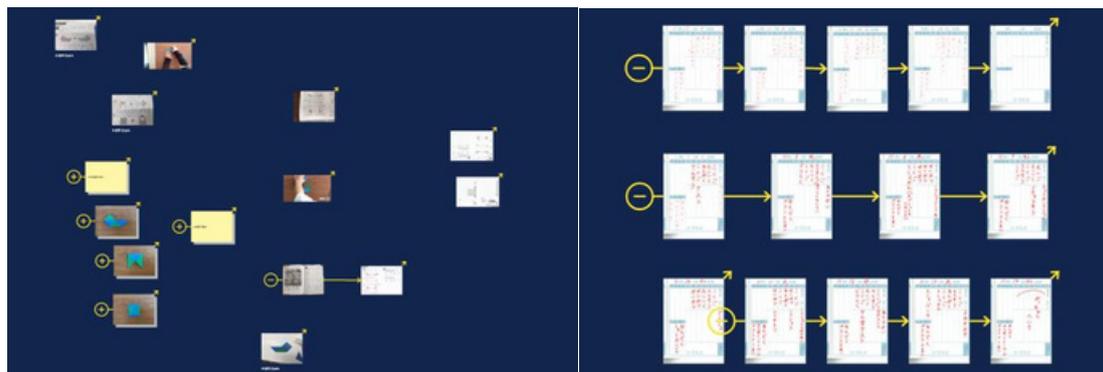
学校で使用しているタブレット端末（iPad）の持ち帰りをします。今回の持ち帰りは、①音読を動画に撮って送る ②学校の授業で取り組んだ様子をご家庭で見ただき、タブレットに入っているアプリで楽しみながら学習してみる この二つを課題とします。また、eライブラリや漢字ドリルのWebアプリなどで自主学習をすることも可能ですので、いろいろ試してみてください。

使用の際には、次の点にご留意いただきたいと思います。

- ①使用の際には、親子一緒に使うようにしましょう。
- ②Youtubeを見ることができるようになっていますが、学習に使用するための端末なので、学習目的以外に使用をしないでください。
- ③長い時間使っていると、目が疲れたり、やめたくてもやめられなくなったりします。依存にならないよう、使用する時間を決めて下さい。  
(スクリーンタイムが設定されています。夜8時から翌朝6時までには使用できないようになっていますので、あらかじめご承知おきください。)

なお、タブレットの充電が可能でしたら、充電をしていただいて、25日（火）に学校へ忘れずに持ってきてください。

（４）個別配慮の必要な児童にとって使いやすい環境をつくる 「黒板の字が見にくい」「離席をする」「見ることに集中できない」「登校して集団で生活することに不安がある」など、学級で配慮の必要な児童が相当数いるため、ロイロノートの機能を使って支援をしている。



～むすびに～

1年生の実践の一例を通して、タブレット端末の取り扱いに様々配慮をしてきたことが改めてわかった。「ルール、約束事の大切さ」「使う目的を明らかにすること」「保護者への理解、啓発」「配慮の必要な児童への対応」など、日頃の子どもたちの姿を見ながらやってきたことに意味があるといいなと感じる。

GIGAスクール構想で一人1台端末が一気に進んだ分、そのひずみや課題もだいぶ明らかになっている。世の中のデジタル化はますます加速しているし、人口減社会で人手不足が叫ばれている中、子どもたちがデジタルと上手に付き合い、人とのかわりに喜びを感じられる生き方ができるように、バランスを考えながら指導を積み重ねていく必要があると考える。